

1 トップメッセージ

リサイクル社会のあるべき未来像を見つめ

代表取締役 福田 隆

東港金属の環境に関する考え方や取り組み姿勢を環境報告書という形で初めて公表いたしましてから今年で14年となりました。その間に世界中で「環境」意識の重要度は益々高まり、生活すべてが「環境」を考慮しなければならない社会になっております。限りある資源を次世代に残し、地球環境を少しでも壊さないために、更なる工夫が必要になるはずです。

東港金属は、産業廃棄物の中間処理業、原料再生の都市型総合リサイクラーとして、大田区京浜 島の本社工場と、富津市の千葉工場の2拠点体制で排出事業者様からお預かりした廃棄物を資源 化し、持続可能な環境づくりに努めております。

昨年度も当社環境方針の重点テーマの一つである資源「受入れ量拡大」の項目は達成できました。これはご理解いただいているステークホルダーの皆様方からのご協力とご支援の賜と心より感謝申し上げます。



また、当社の事業活動を推進するためには、第一に社員の健全な生活を守らなければならず、社員が労働災害や労働疾病防止とする様々な側面を意識し、環境負荷の少ないリサイクル業務に取り組めるように努めております。

さて、2018年末の中国が定めた固体廃棄物(再生資源)第7類の輸入禁止措置の影響は、循環型社会実現の一翼を担う廃棄物処理業界に多くの課題を提示しており、当面の対応として「輸出に依存しない資源循環の仕組み作り」の模索と実行が強いられております。当社も国内循環処理を進めるべく、千葉工場の大型シュレッダーをフル活動させ、混合廃棄物からの資源再生事業を推進しており、皆様のご期待に応えられるように今年度も更に処理・選別の効率を高め、課題の解決に力を注いで参ります。

一方、これからの地球環境・循環型社会を持続させるためには、使用済み製品をお預かりし再資源化出来たことでその任が終わるものではないことを自覚し、リサイクル社会のあるべき未来像を見つめ、2019年より東港金属グループ全体のビジョンとして「サーキュラーエコノミーを体現する」を掲げました。

それは、製品・部品・資源を最大限に活用することにより、使用済み製品をリペア(修理)、シェアリング(共同利用)、リ・セール(再販売)、リ・マニュファクチュア(再生産)等の複数の輪に永続的に対応させることで、それらの価値が目減りすることなく経済成長と環境負荷軽減の両立を可能にするものです。

東港金属グループは、産業廃棄物処理業務をコアビジネスとするグループ会社を構成し、IT化、そしてAIの力も利用してサーキュラーエコノミーを実現することで、回収した使用済み製品の処理活用方法(手段)を精査し、その情報を動脈産業と共有し、循環活用の輪を広げる業務を推進して参ります。地球資源の使い捨てを軽減化させ、循環型社会形成に寄与しつつ、新しいビジネスを生み出して参ります。東港金属グループだからこそできることであり、力を入れてゆくことが使命でもあると確信しております。

最後に、1902年(明治35年)創業の故銅店をルーツとする当社は、以来「勿体ない」の心を忘れることなくリサイクル業を営んでおりますが、加えて、先々代が執筆の著書「非鉄金属読本:1958年改訂版」の自序の中で「いつかは地下資源が全部掘り起こされて零となり、地上のスクラップのみが回転再生使用される日が来るに違いない。掘り起こした資源のスクラップが充分な知識のもとに分類選別されて、それぞれの分野に投入されれば我が国の経済の発展に資するはず」を思い起こし、サーキュラーエコノミーを体現すべく、グループを挙げて推進してまいります。

2 目次

1	トップメッセージ	1
2	目次	1
3	編集方針	2
4	東港金属株式会社について 会社概要、 事業概要、 会員資格を有する主な団体、 事業所ロケーション、 沿革、 許可・認定・認証	
5	環境マネジメントシステム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5

6	事業活動と環境負荷7
	マテリアルバランス、 マテリアルバランス詳細
7	東港金属の責任と役割9
	事業所リサイクルフロー、
	環境安全管理の取り組み、
	環境にかかわる教育・コミュニケーション、
	地域との共生、 事業所の安全衛生
	情報セキュリティマネジメント体制
Ω	グループ会社紹介19
O	トライメタルズ株式会社
	トライマテリアル株式会社
	トライシクル株式会社

真に効率のよい循環型社会を構築し次世代へ

東港金属グループは、2019年より企業ビジョンに循環型社会を実現する経済モデルである、「サーキュラーエコノミーを体現する」ことを掲げ、100年以上積み上げてきた豊富なリサイクル経験と、ビジネス市場での循環を促す新しいサービスへのチャレンジで、真の循環型社会の実現に向けてまい進してまいります。

サーキュラーエコノミー(CE)とは、再生し続ける経済環境を実現すること。

製品・部品・資源を最大限に活用し、それらの価値が目減りすることなく再生・再利用し、循環し続けることです。これまでのリサイクル業では、大量消費リサイクル(下図の薄い青)の輪しか対応できていませんでしたが、今後はそれらの価値を目減りさせずに、永続的に再生、再利用、共同利用も含めた複数の輪に対応することが必要で、経済成長と環境負荷軽減の両立を可能にするものです。

地球温暖化について国連環境計画(UNEP)が昨年11月、このままだと地球に「破壊的な影響」が生じると、強い調子の警告を発する報告書を公表しました。物が動けば、必ずエネルギーが放散されます。高度成長期の、作って、使って、使用済み製品は捨てる。という観念は環境汚染の観点から、ずいぶん前に世界的に転換され、国内でも平成12年公布の循環型社会形成推進基本法のもとに資源循環推進法(3R(リデュース、リユース、リサイクル)法)や、個別リサイクル法が次々と制定され、リサイクルを推進していますが、再生し続ける経済環境の確立には至っていないのが現状です。



CEは、そのリサイクル社会から一歩先を見つめ、使用済み製品をリペア(修理)、シェアリング(共同利用)、リ・セール(再販売)リ・マニュファクチュア(再生産)させ、永続的に循環させることを目的にしています。

廃棄物処理業界においては、IT化、そしてAIの力も利用して回収した使用済み製品の処理活用方法(手段)を精査し、その情報を動脈産業と共有し、循環活用の輪を広げます。

地球資源の使い捨てを軽減化させ、循環型社会形成に寄与しつつ、 新しいビジネスを生み出す。静脈産業はそれができる業界であり、力 を入れて行くことが使命でもあるでしょう。

.【東港金属グループ ミッション】...

- ①テクノロジーにより、便利なエコシステムを創造する。 ②テクノロジーにより、静脈産業をアップデートして楽しく、面白い 産業に変える。
- ③高度なリサイクルシステムを構築し、捨てるものをなくす。
- ④トライシクルを世界最高のサーキュラーエコノミー系IT企業にする。 ⑤社会から感謝されるリサイクルサービスを提供する。

3 編集方針

東港金属株式会社は、当社の環境に関する考え方と取組姿勢を中心とした業務内容そのままを、定期的に報告することにより、ステークホルダーの皆様の良きリサイクルパートナーとして、事業活動の透明性、信頼性を評価、ご理解いただきたく、環境報告書を作成いたしております。お気づきになりましたことなど、ご指摘ご指導賜りたくお願い申し上げます。

また、本報告書にはトピックとして、グループ会社の「トライシクル株式会社」の業務紹介を掲載いたしました。

【対象組織】

環境目標設定及び達成状況の対象組織は、ISO14001 と同じく東港属株式会社(本社・本社工場、千葉工場、東京事務所)及びトライマテリアル株式会社(本社営業所)としました。また、マテリアルバランス及び目標設定以外のエネルギー投入量等の実績は2020年3月に閉鎖した東北支店も含めております。

【対象期間】

第75期(2019年1月~2019年12月)をまとめたものですが、報告内容には一部第75期の内容を含みます。

【準拠、参考ガイドライン】

環境省「環境報告書ガイドライン(2012年版)」を基に「環境報告書ガイドライン(2018年版)」を参考にして作成いたしました。

【発行】

令和2年4月(2020年4月)

【お問い合せ先】

東港金属株式会社 経営企画室

〒140-0013 東京都品川区南大井6-17-17 FINEビル2F TEL:03-5767-8860(代) FAX:03-5767-8870 ホームページ http://www.tokometal.co.jp/

2

当社では、2007年より【環境報告書】を作成しております。今までの環境報告書は、当社のホームページからご覧になれます。

東港金属株式会社について

会社概要

名 東港金属株式会社 Toko Metal Co., Ltd.

代表者 代表取締役 福田 隆

業 1902年(明治35年)7月

従業員数 138名(2020年1月1日現在)

商 70.3億円(2019年12月期)

事 業 所 本社、本社工場、千葉工場、東京事務所、

東北支店(2020年3月閉鎖)

協力会社 トライマテリアル株式会社

トライメタルズ株式会社

トライシクル株式会社

4-2 事業概要

- ◆金属スクラップ全般に関する業務(国内/輸出入)
- ◆プラスチックの各種リサイクル
- ◆産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業

◆その他

4-3 会員資格を有する主な団体

団体名	役 職 (代表取締役 福田隆)
環境省	環境省中央環境審議会専門委員 地球環境部会所属専門委員 フロン類等対策小委員会専門委員
非鉄金属リサイクル全国連合会	リサイクル環境推進部会 部会長
東京非鉄金属商工協同組合	リサイクル環境推進部会 部会長
(一社)東京都産業資源循環協会	中間処理委員会 破砕・圧縮分科会リーダー
(一社)千葉県産業資源循環協会	
品川リサイクル事業協同組合カムズ	理事
城南鋳物団地協同組合	理事
東京城南鋳物工業協同組合	
(一社)日本鉄リサイクル工業会	
電線リサイクル協議会	



4-5 沿革

1902年	創業者福田勝西が東京市神田に伸銅品と非鉄金属の問屋を開業	2011年	東京都産廃エキスパート認定更新				
1947年	会社組織にし、(株)福田地銅店(製品問屋業)と、東港金属(株)(地金問屋業)を設立	2012年	産業廃棄物収集運搬業の優良確認認定取得(除: 埼玉県、福島県)				
1960年	東京精錬(株)(後の東京銅基合金工業(株))を設立、銅合金の精錬及びインゴット製造を行う		東京都で産業廃棄物処分業の優良確認認定				
1979年	東京銅基合金工業(株)と東港金属(株)の工場を京浜島に移転	1	本社第四ヤードを開設				
1994年	電線リサイクル処理(ナゲット)プラントを導入、本社工場に設置		東京都品川区南大井に東京事業所移転				
	産業廃棄物収集運搬業と中間処理業(切断・破砕)の許可を取得		千葉工場内に保税蔵置場の許可取得 埼玉県で産業産廃物収集運搬業の優良確認認定				
1997年	東港金属(株)が東京銅基合金(株)を吸収合併する	00145					
2001年	家電リサイクル法に基づき指定引取場所となる	2014年	千葉工場のプレシュレッダー設置許可取得 千葉県で産業産廃物処分業の優良確認認定				
2002年	東京都とエコトライ協定を締結		東京都産廃エキスパート認定更新				
2003年	家電リサイクル指定引取場所及びスクラップ取り扱い増を目的とした本社第二ヤードを開設	2015年	千葉工場の施設としてプレシュレッダー追加				
2006年	本社および京浜島工場で、環境マネジメントシステム(ISO14001)を認証取得		及び保管施設変更の許可取得				
2007年	東京都港区芝に東京事務所を開設	1	千葉工場が自動車リサイクル法に基づく破砕業の許可を取得				
	千葉県富津市に千葉工場を開設		本社工場にベットマット処理機設置				
2008年	本社第三ヤードを開設	2016年	スクラップ船積み輸出開始				
2009年	千葉工場が産業廃棄物中間処理業の許可取得		第五ヤードを開設、圧縮油圧切断機の稼働開始				
	情報セキュリティマネジメントシステム(ISO27001)を認証取得	2017年	福島県で産業廃棄物収集運搬業の優良確認認定				
	千葉工場をISO14001認証範囲に拡大登録	2018年	東京都産廃エキスパート認定更新				
2010年	東京都産廃エキスパート認定取得	2019年	天童支店を山形東根市へ移転し、東北支店と名称変更				
	天童支店開設		千葉工場 港ヤード開設				
	本社工場に産廃選別ライン導入	2020年	東北支店閉鎖				
	家電リサイクル法の指定引取場所を閉鎖						

4-6 許可·認定·認証

- ◆産業廃棄物収集運搬業
- ◆産業廃棄物処分業(中間処理)
- ◆自動車リサイクル法に基づく破砕業(千葉工場)
- ◆古物商
- ◆東京都 産廃エキスパート認定(中間処理及び収集運搬業)
- ◆第1種フロン類充填回収業者登録
- ◆保税蔵置場許可(千葉工場)

- ◆ ISO14001認証
- 本社·本社工場、千葉工場、東京事務所 トライマテリアル株式会社 本社営業所
- ◆ ISO27001認証

本社·本社工場、千葉工場、東京事務所

東港金属株式会社 及び トライマテリアル株式会社 (特別管理)産業廃棄物収集運搬業許可一覧

*当許可証は「産廃情報ネット」からご覧いただけます。 当社及びトライマテリアル㈱のホームページからもアクセスできます。

2019年12月末日現在

	許 可 品 目 (●は石綿含有物質を含む、 ◎ は水銀使用製品廃棄物を含む、 ◎ は石綿含有物質及び水銀使用製品廃棄物を含む)											は水銀使	用製品原	廃棄物を	含む、●	は石綿含	有物質》	及び水銀			を含む)				
										産業	廃	棄物						特別管理産業廃棄物				優良産廃			
取得都道府県					汚泥	廃 油	酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	及び陶磁器くずガラスくず、	がれき類	廃酸 H 2.0以下	廃アルカリH2.以上	廃石綿等	に限る)に限る)を油類のでは、一般に関係のでは、一般に関係のでは、一般に関係である。	処理業者 認定制度 による 優良認定			
	岩手県		県	東港金属					0	0	0	0			0	0	•					0			
	_			トライマテリアル					•	0	0	0			0	O	•					0			
	福	島	県	東港金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0			
	ļ			トライマテリアル					0	0	0	0			0	O						0			
	茨	城	県	東港金属		0			0		0				0	0						0			
				トライマテリアル	0	0			•	0	0	0			0	0	•					0			
	栃	木	木	木	木 !	県	東港金属		0	_		0	0	0	0			0	•						0
				トライマテリアル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	•						0			
産業	群	馬	県	トライマテリアル	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	0	•						0			
廃	埼	玉	県	東港金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0			
棄				トライマテリアル	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	0	•						0			
物	_∓	葉	県	東港金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0						0			
	Ľ		<i>></i> \	トライマテリアル	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	0	•						0			
	東	京	都	東港金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0						0			
		۸,۲	ЪР	トライマテリアル	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	0	•						0			
	神	奈川		東港金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	•						0			
	17			トライマテリアル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	•						0			
	長	野	県	トライマテリアル	0	0	0	0		0	0	0	0		0							0			
	静	岡	県	東港金属					•		0				0	0	0					0			
			ᇌ	トライマテリアル					•	0	0	0		0	0	•						0			
特別管理	千	葉	県	トライマテリアル														0	0	0		0			
別廃棄	東	京	都	トライマテリアル														0	0	0		0			
理物	神	奈川	県	トライマテリアル														0	0	0	0	0			

注)「廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令」が改正され、産業廃棄物収集運搬業(積換えなし)及び特別管理産業廃棄物収集運搬業(積換えなし)の許可 が合理化され、これまでは(特別管理)産業廃棄物の収集運搬については、積卸しを行う全ての都道府県又は政令市の許可を受けなければなりませんでしたが、平成23年4月1日(2011年4月1日)より原則として、一の政令市を越えて収集運搬を行う場合は、都道府県の許可のみで当該都道府県内全域で収集運搬を行なうことができるようになりました。

東港金属株式会社 産業廃棄物処分業許可一覧

マリフ	17元末170と71末日 2019年12月末日野													
							許	可品	目					
	取得	都道	府県	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	カラスくず、 カラスくず、	がれき類	優良産廃 処理業者 認定制度 による 優良認定		
	東	京	都	0	0	0	0		0	0		0		
	千	葉	県	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

*当許可証は「産廃情報ネット」から ご覧いただけます。

当社のホームページからもアクセス できます。

環境マネジメントシステム

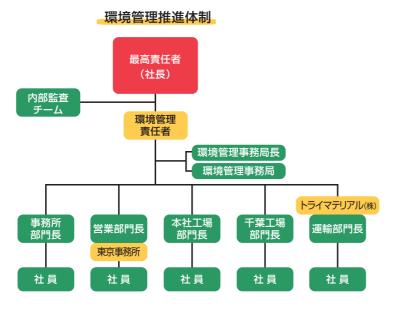
環境マネジメントシステム体制

当社は事業活動を進める中で、さまざまな過程段階 で環境負荷が生じることを認識し、地球環境問題に 対応し持続的発展を続けるために、自主的に環境保 全に取組み、環境方針を定めております。

環境方針は常に職場内に掲示し、社内に周知させる ことで、社員が労働災害や労働疾病防止をはじめと するさまざまな側面を意識し、環境負荷の少ないリ サイクル業務に取り組めるよう指導しております。

2006年6月にISO14001を取得しました。

社長をトップとして、積極的に環境マネジメントシ ステムを構築して、環境方針に沿った管理体制の維 持向上に努めています。



5-2 環境方針

東港金属株式会社は、資源循環型社会の一翼を担う金属加工処理業ならびに産業廃棄物の収集運搬及び 中間処理業等の事業を通じて環境負荷の少ないリサイクルに正面から取り組み、社会に貢献できうる企 業を目指し、従業員が一丸となり環境保全対策を実施し、地球環境保全のために尽くします。

- 1. 当社の事業活動、製品及びサービスに関わる環境側面を常に認識し、 汚染の予防に努めるとともに環境パフォーマンス向上のために、 環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
- 2. 当社の環境側面に関係して環境保全水準の向上を図るために法的要求事項、 及び自主基準を設け、決めた要求事項を順守します。
- 3. 当社が行う事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響の中で、 以下の項目について重点テーマとして改善活動を推進します。
 - (1) 取扱商品の入荷量を拡大し、当社より排出する産業廃棄物の削減を図り、 天然資源の枯渇の抑制に貢献するとともに、最終処分量の削減に努めます。
 - (2) 千葉工場のシュレッダー業務の効率化を図り、処理量拡大を図ります。
 - (3) 各種車輌、重機等に使用する燃料の削減を図り、 地球温暖化と化石燃料資源の枯渇の抑制に努めます。
 - (4) 工場内のプラント設備、事務所の照明・空調等に使用する電力使用量 の削減を図り、地球温暖化と化石燃料資源の枯渇抑制に努めます。
 - (5) 新計量システム導入による伝票使用量の削減(ペーパーレス化)に努めます。

2019年1月1日 東港金属株式会社 代表取締役 福田 隆

目標設定及び達成状況

負荷低減への取組み

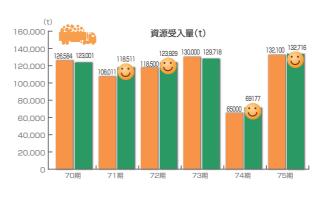
当社は、事業活動、製品、及びサービスが環境に与える影響の中で、重点テーマである省エネ・省資源、効率向上 化の達成すべき目標を環境保全計画として設定しております。

このページでは ISO14001 の適用範囲(本社、本社工場、千葉工場、東京事務所及びトライマテリアル株式会社) の75 期環境目標・年度環境実行計画に基づくデータを掲載いたしました。

部門	8	推進項目	75 期 目 標 施 策	年間目標	結果·数值	達成度
£		資源受入量の拡大	(1) 営業力の強化(人員補強) (2) 仕入先の拡長(顧客拡大)	132,100t/年 の達成	132,716t/年	対目標値よりも更に 0.5%の増量達成
社		紙使用量の削減 ※1	(1) 計量システム導入 (2) 裏紙の使用 (3) 不要資料の削減徹底 (4) 配布資料及び配布先の適正化 (5) メール・電子化の推進	2,284枚/千tの達成	1,968枚/千t	対目標値よりも更に 13.8%の削減達成
本:	トライ	燃料使用量削減(運搬車輌) ※2	(1) アイドリングストップの励行(2) アクセルの吹かし過ぎ防止(3) 急発進の防止(4) 効率的な積み降ろし・運搬(5) 車輌の定期点検・整備	1,1500/千tの達成	681ℓ/千t	対目標値よりも更に 40.1%の削減達成
本社工場	マテリアル(株)	燃料使用量削減(重機) ※2	(1) アイドリングストップの励行 (2) アクセルの吹かし過ぎ防止 (3) 効率的な積み降ろし、運搬 (4) 車輌の定期点検・整備	1,825ℓ/千tの達成	1,354l/∓t	対目標値よりも更に 25.8%の削減達成
((株)	電力使用量の削減 ※3	(1) 破砕機モーター稼働時のライン設備 トラブル減少→ データー取り、改善推進 (2) 定期的メンテナンスの実施	10,150kWh/千tの達成	7,151kWh/千t	対目標値よりも更に 29.5%の削減達成
±	E	電力使用量の削減 ※4	(1) 破砕機モーター稼働時のライン設備 トラブル減少→データー取り、改善推進 (2) 定期的メンテナンスの実施	50.0 kWh/t の達成	44.0kwh/t	対目標値よりも更に 12.0%の削減達成
第二場	千葉工場	シュレッダーの稼働率アップ	ライン整備による ①稼働率アップ ②シュレッダーの停止時間の削減	累計稼働率93.0%の達成 停止時間176.4H/年以下の達成	稼働率94.3% 停止時間 146H/年	対目標値よりも稼働率 は1.3ポイント改善 停止時間は更に 17.2%の削減達成

- ※1 紙使用量原単位=コピー用紙 A4 換算使用枚数(枚)/(本社入出荷量+千葉工場入出荷量)
- ※2 燃料使用量原单位-燃料使用量(0)/本社·製品入出荷量(干t) ※3 電力使用量原単位(本社)=電力使用量(Kwh)/本社·製品入出荷量(干t)
- ※4 電力使用量原単位 (千葉工場)=電力使用量 (Kwh) / シュッゲー投入量 (t) 注) ※2~4項目は、月平均で目標管理を行っておりますが、ここでは期末での達成値を記載しております。

◆全社共通の推進項目の目標と実績





◆電力及び軽油使用量実績

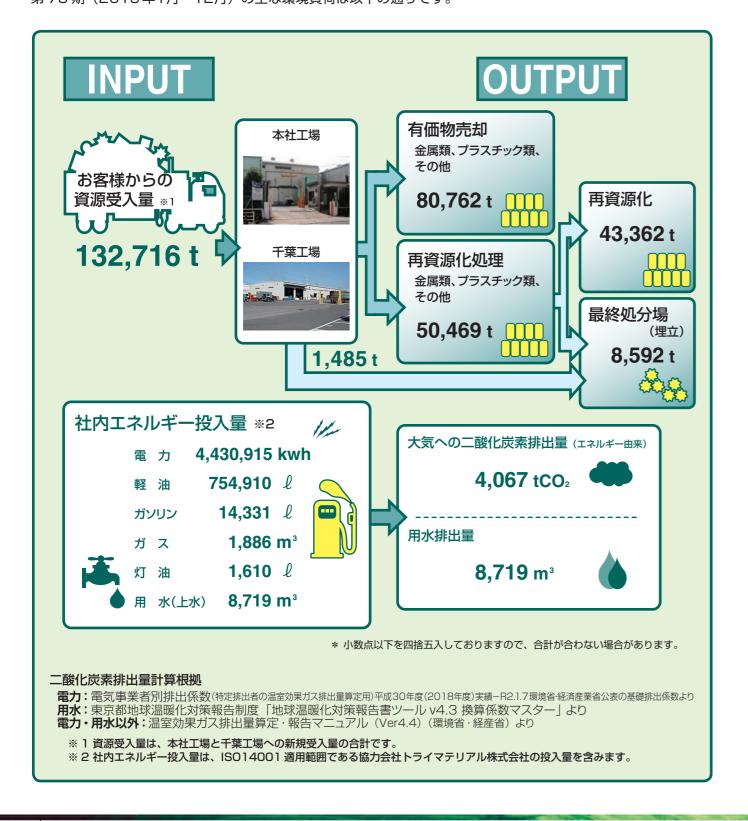




6 事業活動と環境負荷

6-1 マテリアルバランス

当社事業においては、常に資源のリサイクル率や、再資源化の向上を図るための活動を行いますが、一方、活動における環境負荷として、電力や燃料などの各種エネルギーの消費に伴う温室効果ガスの排出があります。作業効率の向上や工程改善をすることで、環境影響を低減させる努力を続けて参ります。第75期(2019年1月~12月)の主な環境負荷は以下の通りです。



6-2 マテリアルバランスの詳細

資源受入量とリサイクル率実績



リサイクル率:

受入量に対して、

東港金属の工場から搬送した先(二次処理先)の埋立率を考慮して求めた率。

1 - (直接埋立処分場への搬送量) + (二次処理先への搬送量) × (二次処理先埋立率) 受入量

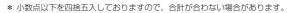
INPUT

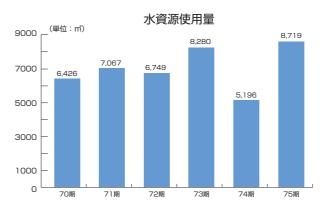
(単位: TJ) 総エネルギー使用量 45 40 40 38 39 40 30 - 20 23 20 - 70順 71期 72順 73期 74期 75順



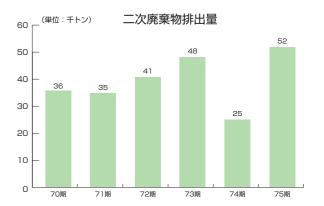
OUTPUT





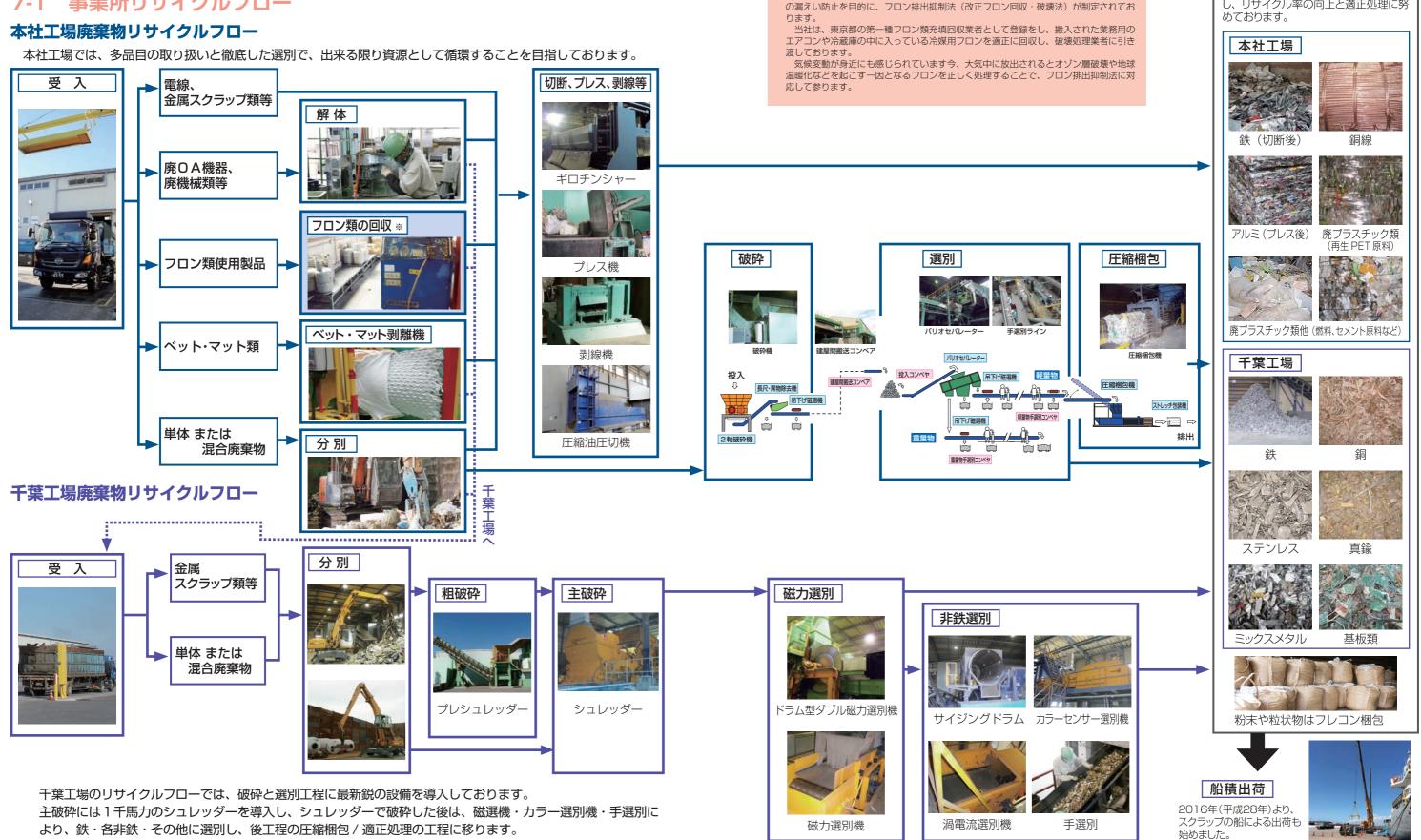


■電気 ■軽油 ガソリン ■その他



東港金属の責任と役割

事業所リサイクルフロー



※フロン類の回収

オゾン層の保護及び地球温暖化の防止のため、オゾン層を破壊したり、地球温暖化に

深刻な影響をもたらしたりするフロン類の大気中への排出抑制やフロン類使用製品から

主な出荷製品(売却及び適正処理先へ)

マテリアルリサイクル及びサーマルリサ

イクル向けの原料化を可能な限り促進

し、リサイクル率の向上と適正処理に努

7-2 環境安全管理の取組み

環境測定結果

当社は、事業活動、製品及びサービスに付随して現れる汚染等の環境側面を常に認識して、周辺地域への環境に配慮し その予防に努めております。本社工場、千葉工場の業務に伴って発生する騒音・振動・悪臭・粉じん、及び構内から排 出される雨水中の含有物質を自主的に測定し、皆様に開示しております。

今事業期の測定値は規制基準値(場合によっては自主基準値)内でした。今後もわずかな問題点にも処置対応を怠るこ となく、地域周辺の環境保全に努め、環境保全水準の向上を図って参ります。

下記環境調査結果の概要版は当社ホームページにも公開いたしております。

【本社】









【千葉丁場】



東港金属株式会社 環境調査結果(騒音・振動・悪臭・粉じん・雨水)

調査実施機関 : 株式会社環境総合研究所【計量証明登録 濃度第592号、音第7号、振動1号】

本 社 工 場: 令和元年(2019年) 5月9日(木)、6月8日(土) 調査期日 千葉工場: 令和元年(2019年) 5月13日(月)、6月8日(土)

調 査 方 法 : 当該地域を規制する条例等の調査方法を採用(詳細は、弊社ホームページをご参照ください)

調 査 結 果 : 適否の欄の記号は次のとおり。 ○:規制基準を満足 ×:規制基準を超過

1. 騒音レベル調査結果

調査場所	調査位置	調査時間	調査結果(騒音レベル)	適否	規制基準	騒音測定時の状況				
本社工場	敷地境界(東)	9:45~9:55	61dB	0	70dB(参考)	工場内の稼働音				
千葉工場	敷地境界(南)	9:45~9:55	59dB	0	70dB	工場内の稼働音				
``_\										

注) 本社工場: 工業専用地域であり規制基準は適用されないため、第4種区域の規制基準を参考に示した。

千葉工場:工業地域であるため、第4種区域の基準を当てはめた。

2. 振動レベル

調査場所	調査位置	調査時間	調査結果(振動レベル)	適否	規制基準	騒音測定時の状況
本社工場	敷地境界(東)	10:33~10:43	47dB	0	65dB(参考)	工場稼働
千葉工場	敷地境界(南)	11:41~11:51	56dB	0	65dB	工場稼働

注)本社工場:工業専用地域であり規制基準は適用されないため、第2種区域の規制基準を参考に示した。 千葉工場: 当該地域は工業地域であるため、第2種区域の基準を当てはめた。

3.悪 臭 調査位置 採取時間 調査結果(臭気指数) 規制基準 調査場所 敷地境界(東) 11:35 <10 13 本計丁場 敷地境界(北) 11:40 <10 10:35 敷地境界(北) <10 \bigcirc 千葉工場 敷地境界(南) 10:50 <10

注)本社工場:当該地域は工業専用地域であるため、第3種区域の基準値をあてはめた。 千葉工場:富津市は臭気物質規制であり、臭気指数規制値はまだ規定されていない。

4.粉じん	調査場所	調査位置	採取時間	調査結果(総粉じん)	適否	規制基準
	本社工場	敷地境界(東)	9:20~13:20	0.29 mg/m³	0	1.5 mg/㎡(参考)
	千葉工場	敷地境界(南)	9:10~13:10	0.60 mg/m³	0	1.5 mg/㎡(参考)

注)東京都、千葉県ともに施設から発生する粉じん濃度には規制値は存在しないため、参考までに茨城県条例で粉じん発生施設に適用される

5. 雨水排水

「下水の水質の検定方法等に関する省令(昭和37年厚・建令1)」に基づき、下記項目について調査を実施。 全ての項目で下水道基準値を満足しておりました。

副星場日・ カドミウム、全シアン、有機燐、鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀、アルキル水銀、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2 ージクロロエタ ン、1,1 ージクロロエチレン、シスー1,2 ージクロロエチレン、1,1,1 ートリクロロエタン、1,1,2 ートリクロロエタン、1,3 ージクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベ ンゼン、セレン、ホウ素、フッ素、全クロム、銅、亜鉛、フェノール、溶解性鉄、溶解性マンガン、BOD、SS、n - ヘキサン (鉱油)、n - ヘキサン (動植油)、全窒素、全リン、水素イオ ン濃度(pH)、温度、沃素消費量、1.4 -ジオキサン

環境関連法規制遵守の現状

環境の法規制で当社及びトライマテリアル株式会社に係るものは以下の通りです。 第75期で行政より指導・勧告を受けたものはありませんでした。

環境側	直	法、条例、等	要求事項(当社該当主要項目のみ)	主な該当施設等	主な該当部署	必要資格
		道路交通法	①自動車免許、速度制限、積載制限	運搬車輌·自家用車	運輸部門•営業部門	大型•普通免許
自動車運行	運搬車輌・自家用車	NOx•PM法	①規制対応車種 ② P M減少装置の取り付け	_	運輸部門	_
	運搬車輌	道路運送法、 貨物自動車運送事業法	運行管理者の選任	運搬車両	運輸部門	運行管理者 試験合格者
業 *廃棄物の受入 *収集運搬(積換保管*) 及び処分業 事業者 廃棄物の排出	金属屑、廃プラ類、ガラス・コンクリート・陶磁器屑、繊維屑、木屑、紙屑、ゴム屑、がれき類、小型家電産業廃棄物の排出	①廃棄物の収集運搬(積換保管*)及び処分業の許可 ②廃棄物の収集運搬(積換保管*)及び処分業の許可 ②廃棄物の保管施設への掲示板の設置 ③委託基準の順守 ④マニフェストの使用及び返却等の管理 ⑤廃棄物処理責任者の設置 ⑥二社契約;許可番号、事業の範囲、有効期限、 処理能力、重量、単価等の記載 ②産廃最終処分業者の処分場視察		業として 被処理物の受け 入れ 業務全般からの 排出	全体	収集運搬業 (積換保管*) 中間処理業 古物商
[事業者] 廃家電等電気製品の排出	特定家庭用機器廃棄物、 パソコン	家電リサイクル法 改正リサイクル法			事務部門 生産部門	_
トラックスケールの使用	トラックスケール	計量法	トラックスケール台貫計量誤差検定 1回/2年 検査	トラックスケール (20t・40t・50t)	生産部門	_
火災の発生	指定可燃物	消防法	指定可燃物貯蔵量調査	工場棟及び 工場内設備	生産部門	_
フロン類の回収	業務用空調機・ 業務用冷蔵庫から のフロン回収	フロン排出抑制法	東京都知事による登録 適正回収、行程管理制度、引取証明書の交付	フロン回収設備等	生産部門 営業部門	第一種フロン類 回収充填業者 登録
排気ガスの放出	非常用ディーゼル 発電機	大気汚染防止法	はい煙排出基準規制の遵守 はい煙量の測定監視	非常用ディーゼル 発電機	千葉工場	_
材料およびエネルギー の使用を物品の購入時 に考慮	物品の購入	グリーン購入法	グリーン調達を推進し、環境に与える負荷を軽減する	事務所	事務部門	_

^{*}収集運搬業で「積換保管」の許可は東港金属のみです。

環境会計

当社としての環境会計の算出方法を模索しておりますが、平成12年3月の環境庁「環境会計システムの確立に向けて(2000 年3月)」及びそれ以降も検討途中とされております通り、当社の本業が環境活動そのものであるため、環境保全コストの把握 が困難であり、今後の課題とさせていただきます。

<参考>

「本業として環境ビジネス(公害防止装置の製造、環境コンサルタント、廃棄物処理・リサイクル事業等)に取り組む場合の環境保全コストの把握(測定) に関しては、困難な問題が多く残されていますが、原則として、本業として取り組む環境ビジネスに関するコストは環境保全コストには含まれないと考えられ ます。ただし、企業等において独自の算出方法を考案されている場合は、その方法を明示した上で、把握(測定)・公表することを妨げるものではありません。 この問題については今後の課題とさせていただきます。」

平成12年3月 環境庁 環境会計システムの確立に関する検討会 「環境会計システムの確立に向けて(2000年3月)」より抜粋

グリーン購入の促進

当社では社内の物品調達について、共有使用できるものやリユースできるものの再使用をすすめておりますが、購入に 際しては、グリーン購入の考えに則した環境負荷低減に資する製品を積極的に購入し、使用することに努めております。

バリューチェーンにおける環境配慮等の取り組み方針

当社の事業活動におけるバリューチェーンに係わる全ての環境に対する影響を把握し、その中で環境負荷の大きなもの を環境方針の重点テーマとして改善を図っております。

受注 営業活動 運送

7-3 環境に係わる教育・コミュニケーション

環境意識の社内啓発



入社時には環境・衛生の基本教育に加え、当社のビジネスが地球環境保全に直接かかわる事業であることを意識付けするために、事業活動に付随して生じる環境影響と地球環境保全の大切さを伝えております。

全社員に向けては、継続的に改善していくための環境マネジメントシステム(ISO14001)について、環境方針と環境管理体制を教育することで、当社の組織の中で、社員全体の環境保全意識の水準が向上するように継続的な社内啓発に努めています。

安全運転講習会

当社は、グループ会社トライマテリアル㈱と共に、ドライバーがプロとして責任を持って仕事に従事するための右表の年間教育プログラムや外部講師を招いての講習会を用意し、安全が全てに優先することの大切さを始めとして安全運転を第一に、エコドライブや道交法の確認、周囲への気配り、毎日の健康管理等についての講習会を毎月開催し、社員の意識アップを図っています。

「安全・確実・迅速」をモットーとしていますが、お客様と直接顔を合わせる会社の顔としての大切なマナーも身につけてもらうために、「マンオブザマンス表彰制度」を設けて、月々の作業姿勢やマナーなどの担当職務に優れたメンバーを表彰しております。またトライマテリアル(株)は、所属する東京都トラック協会主催の交通安全や交通公害についての講習会への参加を奨励しています。



外部講師を招いての安全講習会「あなたの運転再チェック」

テレビ会議システムの導入

社内工場間の移動時間の削減、ペーパレス化を進めたいという狙いのもと、テレビ会議システムを全ての事業所に導入しました。

事業所間での個別会議は勿論、定例会議も、それぞれの事業 所内から参加できることは、不要な出張費の削減ができ、正 確で迅速な意思決定がその場で参加者全員に伝わるなどのメ リットに加え、同一資料を相手の顔を見ながら会話できるこ とで、社員の一体感も強くなるという目に見えない付加価値 を得られ、更に移動に伴う温室効果ガス(CO2)排出も抑え られるという経済効果も生み出しています。

年	月	項目	内容	年	月	項目	内容
	4月	トラック を運転す る場合の 心構え	運送事業は公共的な運 送事業であり、貨物を 安全、確実に運輸する ことが社会的使命であ る。	0	10月	適行及経け及の状況を経営に道交の状況のび路るび次況の状況の状況の状況の状況の状況の状況の場合の状況の場合の状況の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の	運送事業に係る主な道路 及び交通の状況を把握させ、これらの状況を踏まえ、トラックを安全に運転するために留意すべき 事項を指導する。
	5月	トの安保めするツ行をる遵き項本の確た守基本	事業法に基づき、運転 者が遵守すべき事項及 び交通ルール等を理解 させる。	2019年	11月	危険の予 測及びに 避並びに 緊急時に おける対 応方法	悪天候、内輪差、視野の 制約及びジャックナイフ 現象等のトラックの運転 に関して生する様々な危 険についての理解と、必 要な技能を習得させる。
2 0 1	6月	トラックトラの構造上距離	トラックの車高、視野、 死角、内輪差及び制動 距離等が他の車両と異 なる事を理解させる。	i i	12月	運転者の 運転適性 に応じた 安全運転	適性診断の結果に基づき、個々の運転者に自らの運転行動の特性を 自覚させるように努める。
9年	7月	貨物の正 しい積載 方法	偏荷重が生じないよう な、貨物の積載方法及 び運搬中に荷前れの生 しない様な、貨物の固 縛方法を指導する。	2.0	1月	交に運生び要この法 動物を受けるのである。 動物を受けるのである。 があるのでは、 があるのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	過労及び飲酒等何生理 的要技能への過信に心違言 集中力の欠如通等的なるこ 東中力が交通等的なるこ を理解を対や服気を起こ を理解を対や服気をして、 を理解を対や服気をして、 を理解を対や服気をして、 を して、 体 が し、 体 が し、 が も は し、 の が り 、 の の の の の の の の の の の の を と の の の の の の
	8月	過積載の 危険性	過積載がトラックの制動 距離や安定性等に与え る影響を理解させる。	020年	2月	健康管理の重要性	疾病が交通事故の要因 となるおそれがあるこ とを理解させ適性な健 康管理を行うことの重 要性を理解させる。
	9月	危険物を 運搬合に 場合にる 事項	消防法や他の危険物の 規制に関する法令に基 づき、連搬する危険物 の性状を理解させると ともに、取扱方法、積 載方法及び事務方法等 について指導する。		3月	安白のる置る自適転の図装え用の運動を表現の運動を表現の運動を表現の運動を表現の運動を表現の運動を表現の運動を表現の運動を表現を表現している。	運転支援装置に係る事 故の事例運転支援装置 の性能及び留意点



東京事務所





羅針盤の発行

東港NEWS 羅針盤



お客様及び社員に向けて、環境関連の参考情報として東港金属グループで「羅針盤」を発行しております。

産業廃棄物処理業界の相場状況及び改正された法律の内容紹介などの参考情報や、当社のトピックスを羅針盤というニュース紙として毎月発行しています。

今年3月(2020年3月)で120号を発行しました。今までのバックナンバーは東港金属のホームページからご覧いただけます。

http://www.tokometal.co.jp/rashinban/index.html













マンオブザマンス表彰制度

構内ヤードでの日々のメンテナンスと安定した業務に努めた方々をマンオブザマンスヤード部門として、また安全・迅速・丁寧な運転、効率を考えた運行に努めたメンバーをマンオブザマンスドライバー部門として、月毎に表彰しています。75期(2019年度)は次の方々が表彰されました。 *また、トライマテリアル株式会社は一般社団法人東京都トラック協会から平成30年度セーフティードライバーコンテストで表彰されました。これは平成25年度から5年連続の表彰です。







社員の主な資格(資格取得の奨励)

毎日の安全作業のため、又業務効率を Up させるために、重機等機械設備の知識及び作業技能や、担当業務に必要な資格等を修得するよう奨励し、従業員のスキルアップへの指導をしております。

資格名	人数	資 格 名	人数	資格名	人数
フォークリフト運転技能者	66	危険物取扱者	7	足場の組立て等作業主任者	2
中型自動車運転免許	59	安全衛生責任者	6	救命技能認定	2
車両系建設機械(整地・運搬・積み込み及び掘削用)運転者	51	産業廃棄物処理業者講習会	5	特別管理産業廃棄物管理責任者	2
玉掛作業者	44	移動式クレーン運転士	5	PCB 廃棄物の収集運搬業従事者(講習)	2
車両系建設機械(解体)運転者	33	有機溶剤作業主任者	5	安全管理者	1
小型移動式クレーン運転士	26	移動式クレーン運転士 5t 未満	4	大型自動車二種免許	1
ガス溶接技能者	23	防火管理者	4	ISO9001内部監査員	1
大型自動車免許	18	第二種電気工事士	4	破砕・リサイクル施設技術管理士	1
アーク溶接作業者	17	酸素欠乏危険作業主任者	4	古物商許可	1
クレーン運転士 5t 未満	13	クレーンデリック(クレーン限定)	2	特管産廃処理業の許可申請に関する講習会 収集運搬課程(新規)	1
高所作業車運転者	9	冷媒回収技能者(登録講習会)	2	産廃又は特管産廃処理業の許可申請に関する講習会 処分課程(更新)	1
はい作業主任者	9	衛生管理者	2	運行管理者	1
けん引免許	8	産廃又は特管産廃処理業の許可申請に関する講習会 収集運搬課程(更新)	2	大型自動二輪車免許	1
職長教育	7	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	2	2級土木施工管理技士	1
床上操作式クレーン運転士	7	IS014001 内部監査員	2	特定化学物質作業主任者	1
安全衛生推進者	7	ISO 27001 内部監査員	2	陸災防安全衛生教育講師	1
大型特殊免許	7	整備管理者	2	ダイオキシン類特別教育インストラクター	1

7-4 地域との共生

城南鋳物団地協同組合の一員として



城南鋳物団地協同組合事務所

首都圏で唯一の鉄及び非鉄金属の総合団地である城南鋳物団地協同組合は、1978年大田区京浜島工業団地に20社により結成されました。40余年後の現在当初の鉄、非鉄合金鋳物関連企業は半数となりましたが、ステンレス加工、板金、産廃中間処理、建設業等、幅広い業種で形成されています。

異業種の集まりとなった団地組合は、和を以って貴しの精神で日夜 産業界に貢献しています。

当社は本組合の発足当時からの組合員として地域発展に努めております。

東京都産業資源循環協会の一員として

一般社団法人東京都産業資源循環協会(東産協)は、東京都、国、関係団体と密接な連携を保ちながら、産業廃棄物の適正処理の推進及び資源循環等についての調査研究、普及、研修並びに指導等の事業を行うことにより、産業の健全な発展、生活環境の保全を図ることを目的としています。調査研究の成果をもとに、国や東京都などに制度改正などの提案・要望を行い、広く一般に対し啓発を行っています。また、産業廃棄物によって生じた環境問題について、東京都の要望に基づいて対応したり、次世代を担う子供たちに向けた環境学習活動の実施、公益寄付など社会的・公益的役割を果たしています。

当社も一会員として事業の推進に努めており、現在は、中間処理委員会破砕・圧縮分科会リーダーとして、また、協会女性部(e-Lady21)委員、人材確保プロジェクトメンバーとして所属し、循環型社会形成への役割を担っております。

事業所周辺の美化運動

ます。

当社の本社は東京都大田区の東部に位置する京浜島工業団地に有ります。地域北部には大井ふ頭、北東部には城南島、南東部から南部には羽田空港、西部は昭和島があり、周りを京浜運河が流れています。会社の前は羽田空港の B 滑走路に面した海岸線になっており、離着陸する飛行機を眺めるには最適の「つばさ公園」があり、その北端の芝生広場はバーベキュー可能となっております。

この地域の環境保全を維持し、見学に来られるお客様や搬入車が気持ちよく来社していただけるよう、毎朝本社周辺の 道路及び搬入通路の美化清掃を行っています。

当社は自転車競技を応援してます

公益財団法人日本自転車競技連盟(JCF)のオフィシャルスポンサーです。 当社は環境関連企業として、公益財団法人日本自転車競技連盟 (JCF)を通して自転車競技に参加する選手の皆様を応援しており

自転車はジョギングと同じで人力を動力源としていることから、 省エネルギーで無公害の"環境に優しい"乗り物で、地球環境の浄 化促進に一層重要な役割を担っていくことと期待されています。

当社は、人々が楽しみながら、動力による消費エネルギーを少しでも遅らせることが出来る自転車競技を評価し、日本自転車競技連盟を応援することで、地球環境を守る一助としております。戦うフィールドによってまったく違った魅力を秘め、トラック競技場で行われるトラック・レース、一般道を走るロード・レースなど、参加選手自身のエネルギーだけでスピードを競い合うもので、そのスピード感が観戦者の心を躍らさせます。日本ナショナルチームのユニホームの太腿部分には「東港金属」のロゴも使われています。





B.LEAGUEに所属しているプロバスケットボールチーム アースフレンズ東京Zと『パートナー契約』を締結しました

当社は、東京都城南地区を本拠地として B.LEAGUE に所属しているプロバスケットボールチーム、アースフレンズ東京 Z (以下、東京 Z) と『パートナー契約』を締結いたしました。

契約の取り組みと内容は、ユニフォームのスポンサーとして活動を行い、東京 Z の選手が着用しているユニフォームに、 当社のグループ会社で、テクノロジー×イノベーションでサーキュラー・エコノミーを目指しているトライシクル株式 会社が開発・運営している ReSACO <リサコ>のロゴが入ります。







▲ 社員一同が集って東京 Z の応援に参加した時の選手との集合写真です。また、東京 Z にはファンクラブがあります。 ご興味のある方は是非ご加入ください。

BICYCLE CITY EXPO 2019

-自転車まちづくり博- in 東京ドームシティ・プリズムホールへの出展

「自転車を利活用したまちづくりの推進」「自転車新世紀の到来!」を開催テーマに BICYCLE CITY EXPO が、2019年5月23日24日の2日間にわたって開催されました。

開催趣旨には「クルマ偏重社会からの脱却、地球環境に優しいまちづくりは世界の主要都市が取り組んでいる重要テーマであり、日本国内では2018年6月に自転車活用推進計画が閣議決定され、いよいよ本格的に自転車の利活用環境が整備され、自転車走行空間の拡充、駐輪場の整備、自転車を利活用した都市創造、自転車の安全・安心、シェアサイクルの本格運用、自転車を取り入れたライフスタイルの導入などに拍車がかかっていくことは間違いありません。人力として、AI・人工知能の融合によって創出される新たな走行シーンはさらに広がりを見せるでしょう。自転車新世紀の到来です。新たな時代を迎え、自転車を利活用したまちづくりは日本社会のニーズに沿った重要なテーマです。」と記しております。

当社は昨年と同じ「自転車ワールドを陰で支える総合原料リサイクラー」をテーマに、放置自転車再利用のためのリサイクルの取組みを出展致しました。スピードを競う自転車競技を応援するだけでなく、便利に使用していた自転車が使用後放置されゴミとして処理されるのを行政から引き受けて、資源化させ、循環させることへのお手伝いをしています。







展示会場(当社のブース)風景

15 | 1

7-5 事業所の安全衛生

社員の安全・健康のために

(安全衛生委員会及び安全衛生環境会議)

当社及び協力会社トライマテリアル株式会社は、安全は全てに優先すると心得て、労働災害を防止し、社員が安全・健康に仕事を遂行できる職場環境を整えるため、事業所別の安全衛生委員会を組織するとともに、7つの分科会を設置しテーマ別に積極的な推進・改善に取り組んでいます。

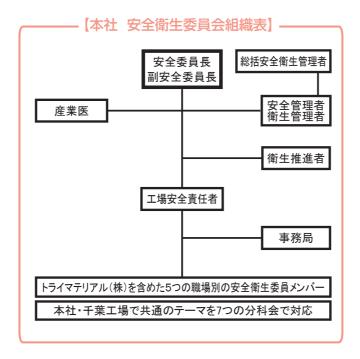


また、定期的に開催 している安全衛生環境 会議には産業医にもあ 加をお願いし、生活の 基本となる労働時間短 縮を含めた職場環境の 改善、メンタルなどの 健康問題など、社員の

健康保持に気を配ったテーマを意見交換しあい、確認を し、具体的なアクションにつなげています。

また、毎朝始業時には社員全員で安全唱和をすることで身を引き締めております。

会議は 13 頁の TV 会議システムを使って全事業所全社 員が参加をしております。



防災訓練(緊急速報に慌てないために)

本社工場は羽田空港の隣、千葉工場は大手製鉄所や東京電力と近接しており、いずれも港湾に面しているため、各地の大震災時の経験を忘れず、不意打ちを想定外と言わないように、防火、防災訓練(消火・避難)を毎月実施しております。 昼間、夜間とも搬入車両の出入りも多く、また工場見学のお客様も増えていることから、不意の災害時に適切な避難誘導が出来るように、数多く訓練する中で災害・防災の正しい知識と技術を習得し、対応できるよう努めています。









安否確認システムの訓練



災害時には全社員が WEB を利用した二つのシステムに アクセスし、お客様を含めて各持場での安否を報告できるよう、「安否確認システムの訓練」を度々実施し、会社 がすぐに安全対応が出来るようなシステムで非常時に備えております。

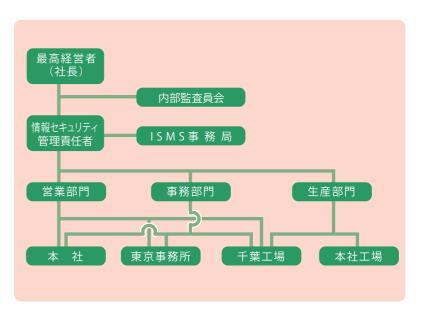
7-6 情報セキュリティマネジメントシステム

情報セキュリティマネジメント体制

ネット社会の今、不正アクセスやコンピュータウイルスによる被害、僅かなミスによる情報漏えいが大きな被害に発展する危険性を抱えている状況下で、情報セキュリティの必要性がますます重要となっております。

当社は、2009 年 4 月に「情報セキュリティマネジメントシステム」ISO27001 の認証取得をいたしております。

当社は「個人情報の保護に関する法律(個人情報保護法)」や「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(マイナンバー法)」に対応し、顧客情報・顧客資産・従業員個人情報保護の責務を果たし、お客様の利益と会社全体の情報セキュリティを推進することが重要な顧客サービスであると考え、情報セキュリティマネジメント体制を整え



定期的に当社が保有する全ての情報資産をリスク評価し、そのリスクに応じて対策を実行しております。

お客様がかけがいのないパートナーとして、安心して当社をご利用いただけるよう、マネンジメントシステムの構築、 維持の Plan - Do - Check - Act のプロセスを通じて、入社時研修をはじめ、定期的に社員一人ひとりの意識の浸 透を図り、推進してまいります。

情報セキュリティ基本方針

1. 目的と活動の原則

東港金属株式会社は、金属加工処理業ならびに産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業等の事業を進めていく上で、顧客情報や処理を受託した機器の記録部の中に含まれている情報等の重要情報を保有している。一方、事業の拡大に伴う本社事務所とヤード、他事業所、事務所及びテレワーク端末等との情報伝達経路の多様化により、情報の漏洩、改ざん、センター機器や情報伝達経路の不具合による事業活動の遅滞や停止等の潜在的なリスクを有している。情報セキュリティマネジメントシステム(以下 ISMS)規格に準拠する ISMS の構築、維持の PDCA プロセスを通じて、これらのリスクに対応する仕組みを確立することが当社の重要な顧客サービスとなることを認識し、従業員が一丸となり ISMS を実施し、顧客及び当社の継続的な事業発展のために、ここに情報セキュリティ基本方針を制定する。

2. 法令・規程・規則

顧客情報・顧客資産・従業員個人情報の保護の責務を果たすため法的要求事項、及び自主的に受入を決めたその他の要求事項を順守、 管理する。

3. ISMS 組織体制の確立

事業の変化とそれに伴うリスクの変化に対して適切に対処するために、情報セキュリティ管理責任者を任命し、その下に ISMS 事務局を設ける。また、ISMS の PDCA プロセスが適切に機能していることを評価する内部監査組織を設置する。情報セキュリティ管理責任者と ISMS 事務局は、当社の ISMS 全般に亘る管理、運営を行う。

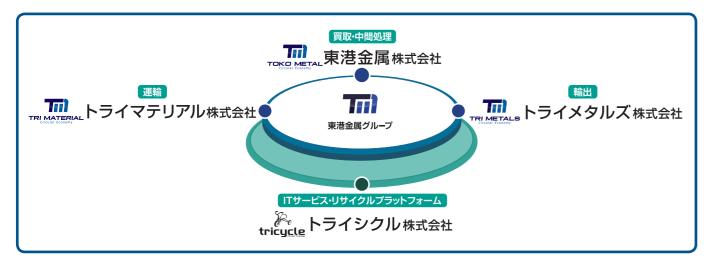
4. リスクへの対応

顧客情報と会計販売情報の機密性を最重要視する。これら情報の漏洩は当社の信頼性を著しく損ない、悪用されれば当社の事業継続に重大な影響を及ぼすと考えられる。また、これら情報が集積しているサーバとその伝達経路の不具合は、業務遂行上の重大なリスクであり、完全性と可用性を考慮する。なお、リスクマネジメントは、客観的に体系化され、重要なリスクを有効に見出す仕組みとして、継続的に見直しを行なえるものとする。

2019年11月21日 東港金属株式会社 代表取締役 福田 降

17 | 18

8 グループ会社



現在の東港金属グループは、運輸を担う「トライマテリアル」、スクラップの買取及び産業廃棄物の中間処理を担う「東港金属」、輸 出を担う「トライメタルズ」、これら三社を含めたサーキュラー・エコノミーを体現するためのプラットホームである「トライシクル」 で構成しております。

「真に効率のよい循環型社会を構築する」これが次の世代へ持続可能な社会を繋いでゆくための我々に課された課題です。自国での 対応だけでなく、開発されたテクノロジーは世界に広めることも責務となります。我が国では、環境基本法の下に廃棄物処理法や個 別リサイクル法が制定され、廃棄物のリサイクル技術が目覚しく発達してきました。この高度なリサイクル技術を世界に広めてゆく ことで、世界の資源循環に大きな貢献が出来るはずです。

そして現在は、AI化で工業用ロボットは進化を続け、自動車も自動運転化の開発が進む時代です。

これから先の静脈産業(廃棄物処理業)は、動脈産業と連携し一体となって、AIを活用することで製品や資源の流れを完全ループ化 して、その製品や資源の価値を出来得る限り目減りさせることなく再生・再利用し、循環し続ける形で成長してゆくことこそが、目指 すべき企業形態と考えており、東港金属グループとしてそれを体現してまいります。

8-1 トライメタルズ株式会社

非鉄金属製品及びスクラップの販売及び輸出入を目的として設立。

お客様から排出される金属スクラップの収集・運搬及び選別・加工・保管を協力会社(東港グループ)並びに委託会 社により行い、輸出及び国内販売に関して、高品質でコストパフォーマンスの良い、資源リサイクルプロセスを実現 しております。

■会社概要

社 名 トライメタルズ株式会社 (TRI Metals Co.,Ltd)

代表取締役社長 福田 隆 代 表 者 17 2007年(平成19年)3月

資本金 600万円

従業員数 4名(2020年1月1日現在)

(東港金属株式会社との兼務を含む)

商 約8.9億円(2019年12月期)

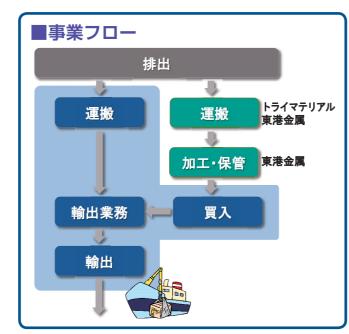
本社·本社営業所 東東京都大田区京浜島 2-20-4 東京事務所 東京都品川区南大井 6-17-17

FINE ビル2F

ホームページ http://www.trimetals.co.jp

■事業概要

- 鉄鋼、ステンレス、プラスチック、アルミニュウム・銅等非鉄 金属製品の加工処理及び販売並びに輸出入
- 製鋼原料の販売及び輸出入
- ・リサイクル機器並びに中古の建設機械の販売及び輸出入



8-2 トライマテリアル株式会社



トライマテリアル株式会社は、 東港金属株式会社がお客様か らお引き受けする貨物を「安 全・確実・迅速」に輸送するとい う役割を請け負う産業廃棄物 収集運搬の協力会社です。 平成18年(2006年)に創業 し、今年は14年目となりまし た。

改めて物流業務の大切さを感 じ、身を引き締めております。

■会社概要

社 名 トライマテリアル株式会社 http://www.trimaterial.co.jp/

代表者 代表取締役 青木秀夫

設 立 2006年(平成18年) 1月

資本金 1,000万円

従業員数 18名(2020年1月1日現在) 年 商 約2.4億円(2019年12月期)

本社·本社営業所 東京都大田区京浜島 2-19-10

東京事務所 東京都品川区南大井 6-17-17

FINE ビル2F

主な取引先 東港金属株式会社

【環境方針】

トライマテリアル株式会社は、東港金属株式会社の協力 会社として同社の環境方針に同調し、資源循環型社会の 一翼を担う産業廃棄物の収集運搬業者として、環境負荷 の少ない事業活動に取り組み、社会に貢献できうる企業 を目指し、従業員が一丸となり環境保全対策を実施し、 地球環境保全のために尽くします。

- 1. トライマテリアル株式会社の事業活動及びサービスに 関わる環境側面を常に認識し、汚染の予防に努めると ともに環境マネジメントシステムの継続的改善を図りま
- 2. トライマテリアル株式会社の環境側面に関係して環境 保全水準の向上を図るために法的要求事項、及び自主 基準を設け、決めた要求事項を順守します。
- 3. トライマテリアル株式会社が行う事業活動及びサービ スが環境に与える影響の中で、以下の項目について重 点テーマとして改善活動を推進します。
- ◇各種収集運搬用に供する車両で使用する燃料の削減を 図り、地球温暖化と化石燃料資源の枯渇を抑制するこ とに努めます。

2019年7月1日 トライマテリアル株式会社 代表取締役 青木 秀夫

■井昌の姿枚一覧

	人数
大型自動車免許	18
フォークリフト運転技能者	17
車両系建設機械(整地・運搬・積み込み及び掘削用)運転者	12
玉掛作業者	11
小型移動式クレーン運転士	11
車両系建設機械(解体)運転者	9
けん引免許	8
ガス溶接技能者	6
大型自動二輪車免許	4
床上操作式クレーン運転士	3
アーク溶接作業者	3
大型特殊免許	3
整備管理者	2
高所作業車運転者	2
安全衛生推進者	2
運行管理者	2
救命技能認定	2
職長教育	2
危険物取扱者	1
はい作業主任者	1
大型自動車二種免許	1
足場の組立て等作業主任者	1
安全衛生責任者	1
交通労働災害防止担当管理者	1
防火管理者	1
特別管理産廃処理業の許可申請に関する講習会 収集運搬課程(更新)	1

■沿革

	1月	東京都中央区に一般貨物自動車運送事業、産業廃棄物収集 運搬業及び特定労働者派遣事業を目的として設立	2011年	12月	東京都の優良性基準適合認定制度で「産廃プロフェッショナル」 の認定取得
		東京都大田区京浜島に東京営業所を設立	2012年	3月	東京都及び千葉県で特別管理産業廃棄物収集運搬の 優良認定取得
2006	3月	特定労働者派遣事業許可	20124	11月	東京都大田区に本社移転
	6月	一般貨物自動車運送事業許可	2014年	12月	東京都の優良性基準適合認定制度で「産廃エキスパート」 認定更新
	7月	各地の産業廃棄物収集運搬業許可取得開始	2015年	7月~11月	福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、 神奈川県、長野県で産業廃棄物収集運搬業の優良認定を取得
2008	年 3月	東京都港区に本社移転	2016年	12月	岩手で産業廃棄物収集運搬業の優良認定を取得
2009	年 7月	ISO14001 本社営業所で認証取得 (東港金属株式会社と合同認証)		4月	東京都の優良性基準適合認定制度で「産廃エキスパート」 認定更新
2010	年 2月	東京都の優良性基準適合認定制度で「産廃プロフェッショナル」 の認定取得	2018年	77	静岡県で産業廃棄物収集運搬業の優良認定取得

7-2 トライシクル株式会社 tricycle

■会社概要

社 名 トライシクル株式会社 代表 者 代表取締役社長 福田 隆 立 2018年(平成30年)5月

資本金 1,000万円

所 在 地 東京都品川区南大井 6-17-17 FINEビル4F

ホームページ https://tricycle.id/

■事業概要

企業間での、リユース、リサイクル、廃棄までの取引を行なう プラットフォームを提供します

- ・インターネットサービスの開発、運営及び販売
- ・インターネットサイトの運営
- ・ソフト開発と販売
- ・中古品の販売、加工
- ・動画配信、メールマガジンの配信
- ・リサイクル製品の販売
- ・リサイクル設備機器の開発と販売
- · 不動産賃貸
- ・上記各号に付随する一切の事業

■目指すところ

テクノロジー×イノベーションで理想の循環型社会を 創る -目指すはサーキュラー・エコノミー・

トライシクルの目指す経済社会モデルは、サーキュラー・ エコノミー(CE) です。

CEとは、従来言われてきた「循環型社会」よりも、より 広角的で革新的な循環型経済モデルのことです。

根底にある考えは、無駄を減らすこと。

そしてその無駄をリサイクルしていくことで新たな価値へ と変化させ "負" から "富" へと変えていくことが、このサー キュラー・エコノミーの価値でもあります。

リサイクルやリユースなどを通じて、製品ライフサイクル の" Close the Loop" (ループを閉じる) を実現するCEで すが、わが国では江戸時代、これに近いモデルをすでに構築 していたと言われています。

傘は破れれば貼り替え、草履は手直しし、それでも使えな くなれば堆肥としてリサイクルしていました。

しかし戦後の高度経済成長により、大量生産・大量消費 大量廃棄に変化したことにより、現在では「2030年には、 地球2個分以上の資源がないと現在の消費は維持できない」 (WWF Living Planet Report)、「2050 年には、世界の廃 棄物発生量が2010年の2倍以上となる」(環境省平成28 年版環境・循環型社会・生物多様性白書)と言われるほどの 資源不足と廃棄問題に直面しているのです。

トライシクルでは、未来の地球・そこに住む未来の子供た ちのために、サーキュラー・エコノミーの実現に向けて挑戦 をしていきます。



ReSACOは、企業の使われなくなったモノを最適な方 法と価格で売り、そのモノを最適な形で必要な方に提供 するマッチング機能と、資源リサイクル & 廃棄物処理を 効率化、最適化する機能を持った世界初のB2Bサーキュ ラー・エコノミー対応プラットフォームアプリです。

フリマサービス、プレミアム無料回収サービス、不用品 まるっとお任せサービスの3種類からなり、不用品を処 理したい排出事業者のニーズに合わせて、最適な処理を 提供致します。

リサイクルだけではないサーキュラーエコノミーの様々 な循環をお届けするサービスです。

https://resaco.id/



エコドラフト with クラウドサインは、産廃事業者で大き な事務負担になっている廃棄物処理委託契約書の作成・ 締結・管理といった業務負担を大幅に削減するサービス

弁護士ドットコムの運営するクラウドサインを利用し、産 廃・建廃に特化した電子契約の締結を行なうサービスで、 API 連携を行なっているため、作成した電子契約書を シームレスに合意締結まで行なうことができます。

これにより、契約書作成時間は三分の一、郵送作業不要、 返送管理、ファイリングも不要となり、大幅な作業負担 軽減を実現しました。

https://ecodraft.id/



法人向けフリマサービス



出品も購入も、最短60秒でできる 「すてる」をなくす法人向けフリマ

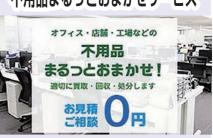
プレミアム無料回収サービス



不用品を無料で回収いたします

オフィス、店舗、工場の不用品を 無料で回収する法人向け無料回収 サービス

不用品まるっとおまかせサービス



オフィス、店舗、工場の不用品・ 産廃処理を買取・回収・処分まで、 まるっとお任せできる法人サービス

EcoDraft

東港金属での長年にわたる廃棄物処理事業のノウハウも 注力され、事業者にとって非常に使い易いものになって います。

EcoDraft

委託契約書の作成から締結、たった3分で

世はペーパーレス時代。産廃・建廃業界にも電子化を。

エコドラフトで産廃・建廃委託契約書を 電子化しませんか?





委託契約書のドラフト作成

契約締結·契約書管理



